

お知らせ 山王

大田区立山王小学校

令和4年11月30日

民間企業に学ぶ教育のイノベーション

校長 長町 正弘

展覧会におきましては、多くのご参会をいただき誠にありがとうございました。校内を回っていますと、下校後にお子さんと一緒にご覧になっている様子を見かけました。自分や友達の作品を熱心に説明するお子さんと微笑みながら頷くおうちの方々。当たり前だった光景を少しだけ取り戻すことができました。ご理解、ご協力に感謝申し上げます。

さて、先日「指定都市小学校長会」において、ある民間企業の代表取締役の講演を聴く機会がありました。概要は以下の通りです。

- ・三十年前と比較して、世界のトップ企業のうち日本企業の占める割合が激減している。
- ・その理由のひとつとして、正解を言い当てる教育が続いているからではないか。
- ・かつては、日本は品質の高さが強みだったが、今はイノベーションの高い企業が勝ち続けている。



・自分の考えをもつ、自分と違う考えの人を歓迎し積極的に議論する、夢中になって苦勞する、そういう人を求めている。

現行学習指導要領の柱であり、本校でも多くの授業で取り入れております「主体的・対話的で深い学び」の実践はまさに社会の要請に沿ったものであることを確信しました。授業を見ていると、「自分と考えの違う人を見つけて話してごらん」という教師の指示により、教室を立ち歩いて対話する様子が見られます。そして、これらの活動が子供たちの意思によるものになることを目指しております。

また、教育再生実行会議において提言されております「STEAM教育」(科学)(技術)(工学)(人文、芸術)(数学)等の教科等での学習を問題解決に生かすための教科横断的な教育』においても、今後取り組むべき課題であると認識しました。

小学校教育は、変化の激しい社会において活躍する人物を育成するための礎を担っています。それらに対応するためのイノベーションが求められていると考えています。

《十二月の生活目標》

- みんなのものを大切にしよう
- 廊下を歩こう

学校で使っている「みんなの物」には、どんな物があるか思い浮かびますか。教室の中、校庭、体育館、音楽室や理科室などの特別教室、いろいろな所を見渡せば、みんなが使っている物はたくさんあります。例えば、掃除で使うほうきも、みんなを使う物の一つです。使っているうちに、ほうきの先が曲がってしまうことがあります。一方、決して新しいほうきではないのに、先がきれいにそろっているほうきを目にすることがあります。物を丁寧に扱うことができているからこそ、きれいな状態を長く保てるのではないのでしょうか。

このように、ちょっとした気遣いでいつまでもきれいな状態で物を使うことができます。みんなの物を大切にすること、次には使う人の身になって使うことにもつながります。まずは丁寧に扱うことや後片付けをきちんとしようとする心がけが大切です。

学校においては、机やイス、掃除用具や給食の食器などを大切に使うということを目標に掲げて指導をしています。学校の物の中には、山王小の先輩達が使ってきた物もたくさんあり、「物を大切に使う」という気持ちも先輩達から受け継がれています。新しい物と取り替えることは簡単ですが、まずは、今ある物を大切にしようとする気持ちを持っていくことが大切だと思います。

(生活指導部)

12月行事予定

日	曜日	行 事
1	木	保護者会（1・2年） 補習教室（5・6年）
2	金	委員会活動 生命尊重週間始 人権啓発作品展始
3	土	管楽器合同演奏会 PTA ドッジボール大会
4	日	
5	月	保護者会（3・4年） 5時間授業（4年）
6	火	補習教室（3・4年）
7	水	
8	木	補習教室（5・6年）
9	金	生命尊重週間終 クラブ活動 人権啓発作品展終
10	土	土曜授業日 特別時程 土曜補習教室（6年） 離任式
11	日	
12	月	たてわり班活動（1・6年）
13	火	たてわり班活動（2・4年） 補習教室（3・4年）
14	水	
15	木	たてわり班活動（3・5年） 補習教室（5・6年）
16	金	クラブ活動
17	土	小学生駅伝大会
18	日	
19	月	
20	火	社会科見学（6年） 補習教室（3・4年）
21	水	
22	木	給食終
23	金	終業式 大掃除 4時間授業
24	土	
25	日	
26	月	冬季休業日始
27	火	
28	水	
29	木	
30	金	
31	土	

*予告なしの避難訓練があります。

12月スクールカウンセラー来校日

黒須	6日(火)	13日(火)	20日(火)
太田	5日(月)	12日(月)	

山王小カーニバル5年生

今年の展覧会のテーマは「山王小カーニバル つくるよこび、あふれ出せ!」でした。どの学年もオリジナリティに富んだ、とても見ごたえのある作品を仕上げました。5年生は展覧会に5つの作品を出展しました。平面作品は、「ことばから思いをひろげて」と「でこぼこの絵」から1点選択しました。立体作品は、「真夜中のカーニバル」。発泡スチロールの土台にアルミ線を付け、家やタワー、公園の遊具などをつくりました。夜の街らしくするために、蛍光塗料で色をつけ、ブラックライトで光るようにしました。家庭科の作品は、「オリジナルウォールポケット」と「山王マイ・マスコット」です。5年生になり、家庭科の学習が始まり、手縫いやミシンを使って裁縫を行いました。ウォールポケットは、布の端やポケット口をミシンで縫った後、糸で刺繍を施しました。マスコットはボタンを付けたり、かがり縫いなど縫い方を考えて作成しました。

共同制作では入り口に掲示する展覧会の看板を各クラスで分担し、作成しました。デザインから自分たちで考え、画用紙や綿、モールやスパンコールなど様々な素材を使って四季の華やかな様子を表現しました。子供たちのアイデアあふれる、素晴らしい展覧会になりました。

生命尊重週間・人権啓発作品展

学校では、学級や学年等の友達と多くの時間を一緒に過ごします。一人ひとりがいろいろな気持ちや考えをもっています。その中で、同じ考えをもつ人がいれば違う考えをもつ人もいます。しかし、自分の意に反して厳しい言葉で言ってしまうと、それが相手を傷つける行為になり、「いじめ」につながる可能性があります。「いじめ」を防ぐためには、さまざまな気持ちや考えを受け止めながら、互いを認め合うことが重要です。集団生活の中で、「自分の大切さとともに、相手の大切さを認めること」がよりよい学校生活を過ごす一歩となります。

本校では、12月2日（金）～9日（金）を、生命尊重週間としました。人権や生命尊重をテーマとした、啓発作品を作成・掲示しています。学校へお越しの際に、ぜひご覧ください。

